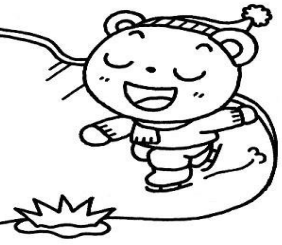




保健・健康だより 2月号

吉美こども園 令和4年2月24日発行



立春を過ぎて、暦の上では春。ところが、今年はもう少し先ようです。雪遊びも楽しいけれど、やっぱりおひさまの光の下で思いきり体を動かして元気いっぱい遊びたいですね！

先週は新型コロナウイルス感染拡大防止のための登園自粛にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。オミクロン株による感染拡大で、さらに身近なものとなってきました。引き続き、お子さまの体調にはご注意ください。とともに、ご家族の体調にも変化が見られたときは、園にご連絡をお願いいたします。

今月は耳の病気についてお知らせします。



もうすぐ「耳の日」

3月3日はひなまつり。「3」は耳の形に似ていることから、「耳の日」と言われています。子どもは耳の病気にかかりやすいので、日頃からお子さまの様子をよく観察しましょう。



大切な耳を守るために気をつけたいこと！

- ・鼻をすすらず、かむ習慣を付ける。
- ・鼻水は、ゆっくりと片方ずつかむ。
- ・耳の近くで大きな声や、音を出さない。
- ・耳をたたかない。
- ・耳掃除は綿棒で、外耳道を拭き取る程度に行う。

急性中耳炎

急性中耳炎には、発熱、耳の痛み、耳だれなどの症状が見られます。機嫌が悪い、耳をよく触る、耳を触ると嫌がる、風邪が治っても熱が下がらない…などの症状が見られる場合は、急性中耳炎を疑って耳鼻科を受診してみましよう。

耳の健康チェック！

～こんな症状が見られたら、耳鼻科に相談を！～

- *向かい合って話せば通じるが、背後から声をかけると返事をしない。
- *テレビの音量を大きくしたり、近付いたりして見ることが多い。
- *会話をしている、何度も聞き返す。
- *話しかけられてもぼんやりしたり、後から聞き返したりすることが多い。
- *よく耳を触っている。



滲出性中耳炎

しんしゅつせいちゅうじえん

鼓膜の奥に液体が溜まる病気で、3～10歳に多く見られます。発熱や痛みがなく、聞こえにくいことが唯一の症状のため、発見が遅れる場合があります。耳の聞こえに異変があるようなら、早めに耳鼻科を受診しましょう。

治療には時間がかかりますが、ほとんどの場合は治癒します。放置しておくと、入院手術が必要になることや、難聴が原因で心や言葉の発達にも影響するので、治療は根気よく続けましょう。



京都府では胃腸炎が再び流行しているようです。園でも、胃腸炎による欠席の報告が入っています。



ご注意下さい。

